

平成 27 年度 地域青年農業者等グループ助成

事業実施主体 松元茶業女性部新商品開発班

1 目的

当女性部では、「お茶の里」のオープンや「かごしまお茶まつり鹿児島大会」の開催などを契機に、「まつもと茶」の消費拡大につながる活動を展開している。

この一環として、若手女性が中心的に運営する新商品開発班において、特に需要が落ちる夏場の消費拡大を図るため、ハーブ等を利用した水出しフレーバーティー開発を検討した。

2 実施状況

(1) 新商品開発検討（平成 27 年 8 月～10 月）

- ・実施場所 JA さつま日置茶研修施設等
- ・添加するフレーバーは、様々な素材を試し、生姜・ミント・グレープフルーツを選定した。また、市販品に配合されている茶は、番茶風の下級品が多く、当女性部の試作品は差別化を図るため、上級クラスの緑茶と紅茶を用い、試作品はティーバッグ加工した。



(2) アンケート調査、緑茶宣伝活動（平成 27 年 9 月～12 月）

- ・実施場所 お茶の里等
- ・アンケート調査では、紅茶とフレーバーを組合せた試作品の評価が高いなど、配合割合を検討する資料が得られた。また、試飲会では、消費者から好評を得て、地元洋菓子店からはコラボ商品の提案を受けた。



(3) 研修会の開催（平成 28 年 1 月～2 月）

- ・実施場所 指宿ベイテラス
- ・日本茶インストラクターを講師に、美味しいお茶の入れ方や、消費者と交流する際の立ち居振る舞いなどを研修した。



3 今後の課題、取組

フレーバーの配合割合を改善したい。また、香料も配合材料に検討し、品質向上と商品増につなげたい。